Panasonic

避難口／通路誘導灯

（電源別置形）壁・天井直付・吊下型

施工説明書
取扱説明書

保管用

品番	片面型	両面型
	FA（H）10318C〔C級〕 FA（H）20318C〔B級　BL形〕 FA（H）40318C〔B級　BH形〕	FA（H）10328C〔C級〕 FA（H）20328C〔B級　BL形〕 FA（H）40328C〔B級　BH形〕

（一般屋内用）・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。　※上記（　）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

- **施工は、施工説明にしたがい確実に行う。**　施工に不備があると落下・感電・火災などの原因となります。
- **器具、光源部の分解、改造をしない。**　落下・感電・火災などの原因となります。
- **製品に衝撃を与えない。**　破損した場合、感電・火災などの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- **水平天井直付・壁面取付（片面のみ）・吊下専用。他の取付はしない。**　落下の原因となります。
- **表示された電源電圧（定格電圧±6%）、周波数で使用する。**　指定外の電源電圧・周波数で使用すると感電・火災などの原因となります。
  （常時AC100V±6V、非常時DC100V《変動範囲DC85V～145V》）

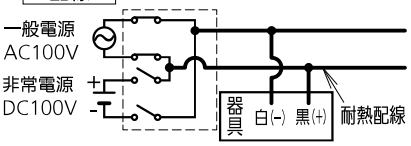
⚠注意

- **この器具は一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、振動の強い場所、外の風やエアコンの冷風が直接当たる場所では使用しないでください。**
  落下・感電・火災などの原因となります。
- **一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。**　光学性能に影響を与える場合があります。
  （一部の食品や薬品、紙類などには硫黄成分が含まれます。また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。）
- **周囲温度は、5～35℃で使用してください。**指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや耐用年限が短くなる及び非常点灯しない原因となります。
- **電源穴・取付穴を通じて取付面うら側から水気・湿気が入る可能性のある場合には防水シール材などですきまを埋めてください。**
  防水処理が不完全な場合、浸水による感電・火災などの原因となります。

施工上のご注意

- **この器具の非常用電源までの配線は耐熱配線としてください。**　配線に不備があると非常時に点灯しない原因となります。
- **この器具は連続点灯専用で消灯できません。常時の電源は誘導灯専用回路とし途中にはスイッチを設けないでください。**
  回路に不備があると非常点灯しない原因となります。
- **この器具の直流回路には極性がありますので、黒側に（+）、白側に（−）を接続してください。**
  （+）と（−）を逆に接続すると、故障および非常点灯しない原因となります。
- **非常点灯（直流点灯）の連続点灯は2時間以内としてください。**
  2時間以上連続点灯すると、故障および非常点灯しない原因となります。
- **両面型の器具の場合、片面型として使用しないでください。**　点灯しません。
- **器具の取り付け、取り外しは手袋などの保護具を使用してください。**　けがのおそれがあります。
- **一般電源と非常電源が同時に印可されることのないよう、電源側で措置してください。**

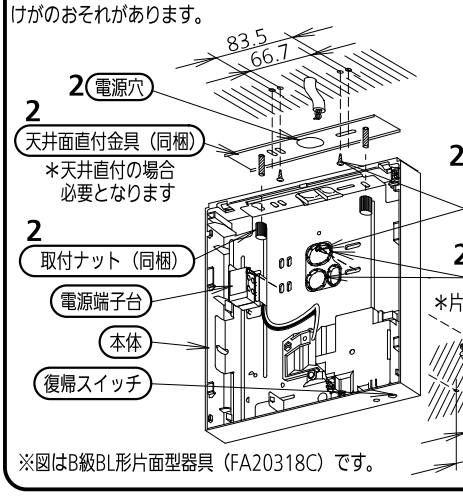
配線　この器具は2線配線専用です



各部のなまえと取り付け方

※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

器具の取り付け・取りはずしは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。



※図はB級BL形片面型器具（FA20318C）です。

電源線・取付部より水の浸入がある場所では使用しないでください。
電源穴・取付穴を通じて取付面うら側から水気・湿気が入る可能性のある場合には防水シール材などですきまを埋めてください。

2 木ネジ又はビス
ネジ頭の高さは3mm以下のものを別途ご用意ください

2 電源穴

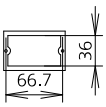
＊片面型の場合のみ　B級片面：背面2カ所
C級片面：背面1カ所
K.O.（ノックアウト）式となっております。必要な分のみ開けてください。

1　取り付け前の確認

- 器具質量（1.8kg：FA20328Cの場合）
- ネジを使用する場合は、取付部の十分な強度を確保する。
- ボックスに取り付ける場合は、器具用カバーを使用する。

右図のような器具用カバーを別途手配してください。
（他のカバーの場合、器具がはみ出る可能性があります。）

器具用カバー（DS4511など）



不備があると器具落下の原因となります。

注）吊具を使用する場合は、適合吊具の取扱説明書を参照してください。

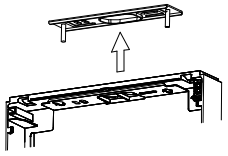
取説No.FA20318C-T3

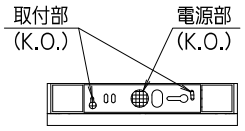
各部のなまえと取り付け方（続き）

2 本体の取り付け

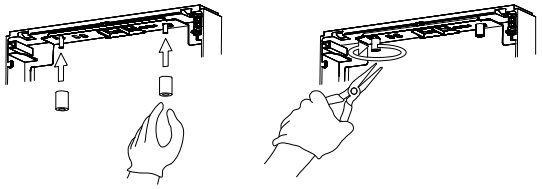
＜天井直付の場合＞

① 天井面直付金具から取付ナットをはずす。
② 天井面直付金具の電源穴から電源線を引き込む。
③ 天井面直付金具を木ネジ又はビスで確実に取り付ける。
④ 本体の電源部、取付部のK.O.を開ける。（片面型のみ）
⑤ 電源線を本体の電源穴から引き込む。
⑥ 本体を天井面直付金具のねじへ差し込む。





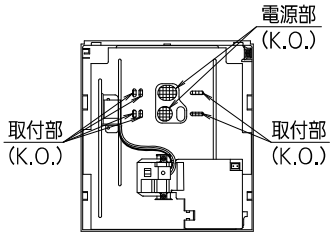
⑦ 取付ナットで固定し、工具にて確実に締め付ける。
（手締めで取付ナットを確実に締め付けた後に、工具で90°程度回転させる）



＜壁直付の場合＞

両面型の器具を片面型として使用できません

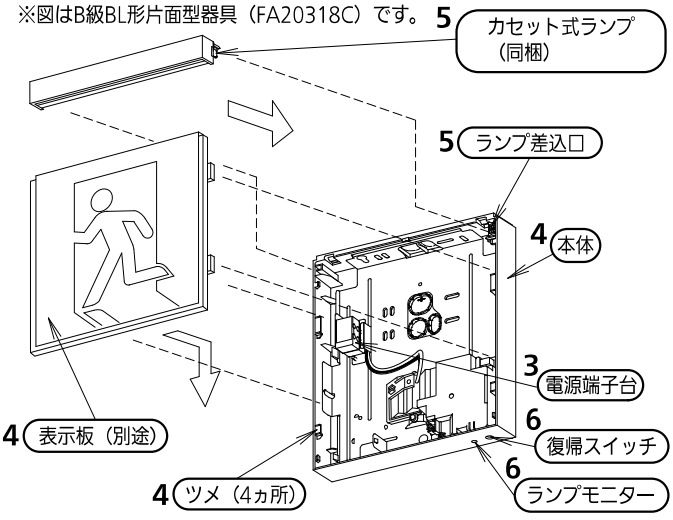
① 本体の電源部、取付部のK.O.を内側から外側に向けて開ける。



② 電源線を電源穴から引き込む。
③ 本体を木ネジ又はビスで確実に取り付ける。

取り付けに不備があると器具落下の原因となります。

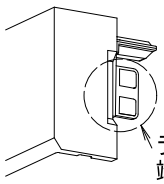
※図はB級BL形片面型器具（FA20318C）です。



※両面型の場合、裏側にもカセット式ランプおよび表示板が付きます。

■適合表示板

対象器具品番	表示板品番
FA10318C,FA10328C	FK10300,FK10305,FK10316,FK10317,FK10318
FA20318C,FA20328C FA40318C,FA40328C	FK20300,FK20305,FK20306,FK20307,FK20308 FK20316,FK20317,FK20318



（注）カセット式ランプ端子部を直接持ったり押さえたりしないこと

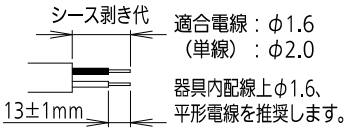
直接触れた場合、静電気によるLED破壊、及び汚れによる導通不良のおそれがあります。

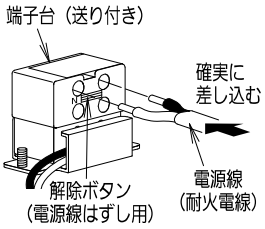
3 電源線の接続

① 直流電源の極性を確認し、電源線を電源端子台（黒）に確実に接続する。
（直流電源は黒側に（＋）、白側に（－）を接続）
② 電源端子台の容量は20Aです。

接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災などの原因となります。

電源の極性間違いの場合、故障や非常点灯しない原因となります。





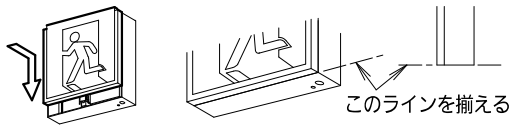
■シース剥き代

	壁直付使用時	天井直付使用時
C級	55mm以下	85mm以下
B級	70mm以下	120mm以下

シース剥き代部が本体から露出した場合、法規違反の原因となります。

4 表示板の取り付け

① 表示板のツメが本体のツメ（4ヵ所）の上側にくるように合わせる。
② 表示板を下側にスライドさせて、本体と下を揃える。



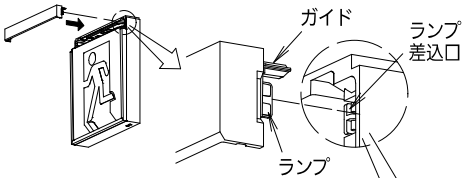
（注）避難方向に表示板の表示方向を合わせてください。

取り付けに不備があると表示板落下の原因となります。

※両面器具の場合、表面と同様に裏面にも表示板を取り付けてください。

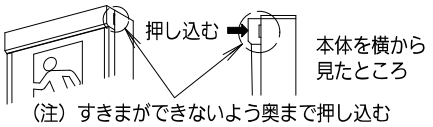
5 カセット式ランプの取り付け

① カセット式ランプを本体のランプ差込口にはめ込む。



（注1）カセット式ランプ端子部を直接持たないこと
（注2）ガイドをガイド挿入口（右図斜線部）に入れながらカセット式ランプをはめ込む

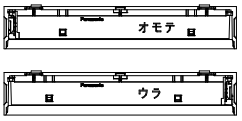
② カセット式ランプをカチッと音がするまで奥に押し込む。



（注）すきまができないよう奥まで押し込む

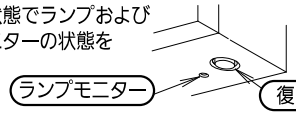
取り付けに不備があるとカセット式ランプ落下の原因となります。

※両面器具の場合、表面と同様に裏面にカセット式ランプを取り付けてください。
カセット式ランプには表面用と裏面用があり、間違えた場合は構造的に取り付きません。
正しい方向で装着してください。



6 点灯確認

電源通電状態でランプおよびランプモニターの状態を確認する。



正常状態
ランプモニターは消灯

正常に動作しない場合は（故障かな？と思ったときは）を参照してください。

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●**器具、光源部の分解、改造をしない。**　落下・感電・火災などの原因となります。
●**万一、煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。**
そのままで使用すると感電・火災などの原因となります。
●**製品に衝撃を与えない。**　破損した場合、感電・火災などの原因となります。　万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
●**布や紙など燃えやすい物でおおわない。**　落下・感電・火災などの原因となります。

⚠注意

●**シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。**　変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
●**照明器具には耐用年限があります。（※1）　法令に基づいて定期的に点検を実施してください。**
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、落下・感電・火災などに至る場合があります。
●**1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。　3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。**
（チェックシート番号：CLX2021HA）

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。ただし、使用条件は周囲温度30℃です。

器具定格・接続図

	常時（AC100V）			非常時（DC100V）		
消費電力	C級	B級BL形	B級BH形	C級	B級BL形	B級BH形
片面	0.8W	1.4W	2.4W	0.4W	0.6W	0.6W
両面	1.0W	2.0W	3.8W	0.6W	0.9W	0.9W

接続図についてはブロックの銘板、定格の詳細については器具の銘板を参照ください。

（共通仕様）
常時入力電圧：AC100V
周波数：50／60Hz
非常時入力電圧：DC100V
その他：通電60000時間後に
ランプモニター点滅

お手入れ・部品交換

⚠注意　ランプ交換時は、器具に取り付けられているランプと同じパナソニック製のランプにお取り替えください。　**故障・ランプ破損の原因となります。**

・器具の清掃について ‥‥水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。
変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
・表示板の交換について ･･･長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

ランプの交換方法

ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。（通電60000時間後）
（注）ランプモニターが赤色点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色などの場合、ランプを交換してください。

交換部品	対象器具	カセット式ランプ（仕様）
品　番	FA10318C	FK91111A　（C級　片面用）
	FA10328C	FK91111S　（C級　両面用）
	FA20318C・FA40318C	FK91221A　（B級　片面用）
	FA20328C・FA40328C	FK91221S　（B級　両面用）

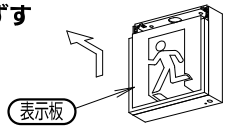
1　カセット式ランプをはずす
（ランプモニター（赤）点灯）
カセット式ランプを工具（マイナスドライバなど）で片方ずつはずす。

スリットに工具を当ててひねりながらはずす

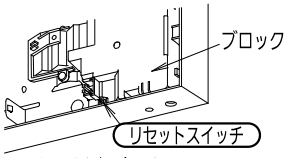
（注1）必ず左右とも工具にてはずしてください。
無理に引き抜くと破損のおそれがあります。
（注2）ランプはひねらずに手前にまっすぐはずしてください。
ランプの破損のおそれがあります。

（注3）工具は強く押し当てないでください。
ランプの破損のおそれがあります。
（注4）ランプ交換は電源通電状態で行なってください。

2　表示板をはずす
表示板を上側にスライドさせて取りはずす。

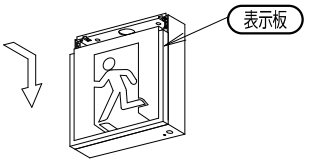


3　リセットスイッチを2秒以上押す



リセットスイッチを押すことで
ランプ点灯時間のカウントがリセットされます。
※図はB級BL形片面型器具（FA20318C）です。

4　表示板を取り付ける
表示板を下側にスライドさせて取り付ける。

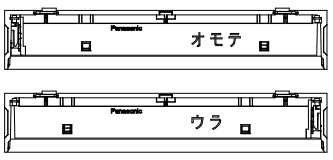


詳しい取付方法は、各部のなまえと取り付け方（4.表示板の取り付け）を参照ください。

5　新しいカセット式ランプを取り付ける

詳しい取付方法は、各部のなまえと取り付け方（5.カセット式ランプの取り付け）を参照ください。

※両面器具の場合
カセット式ランプには表面用と裏面用があり、
間違えた場合は構造的に取り付きません。
正しい方向で装着してください。



6　復帰スイッチを押す
（ランプモニター（赤）消灯）
（注）復帰スイッチを押さないと点灯しません。

取説No.FA20318C-T3

お手入れ・部品交換（続き）

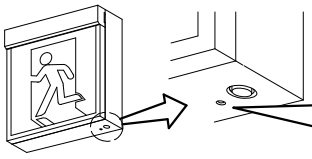
表示板の交換方法

1 カセット式ランプをはずす （ランプモニター（赤）点灯）	5 カセット式ランプを取り付ける
2 表示板をはずす	6 復帰スイッチを押す （ランプモニター（赤）消灯） （注）復帰スイッチを押さないと点灯しません。
4 新しい表示板を取り付ける	
詳しい取付方法はランプの交換方法の1，2，4，5，6をご参照ください。	

使用上のご注意

●アルカリ系洗剤は使用しないでください。　強度低下による破損の原因となります。
●ランプ交換後はリセットスイッチを2秒以上長押ししてください。　ランプ寿命誤診断の原因となります。

・モニターのはたらき



点検方法：電源別置形ですので点検スイッチはついておりません。点検は次の手順で行ってください。

1. 一般電源を切る。
2. 予備電源装置により通電し、非常点灯するかを確認してください。
（一般電源が入った状態では非常点灯の確認はできませんのでご注意ください。）

ランプモニター

ランプの交換時期や異常などをお知らせするものです。		点灯しない	正常です
		赤色点灯	ランプまたはランプの接続に異常が発生しています。
		赤色点滅	ランプ交換時期の目安です。　ランプの点灯時間をカウントし、60000時間後に赤色点滅でお知らせします。

（注）・ランプモニターが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色などの場合ランプを交換してください。

保証について

・保証について　・・・　この商品の保証期間は1年間です。ランプなどの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について　・・　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

◆定期点検　・6ヶ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
（点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますのでかならず実施ください。）

◆設置年月日　　年　　月　　日　　◆取付場所　　◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは

・表にしたがって調べていただき、それでも異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現　象	考えられる原因	処　置
ランプが点灯しない	出力停止モードになっている。	復帰スイッチを押す。
	カセット式ランプがはずれている。	カセット式ランプを確実に接続して復帰スイッチを押す。
	復帰スイッチが引っ掛かっている。	復帰スイッチの引っ掛かりを直す。
ランプモニターが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換し、交換時にリセットスイッチを2秒以上押す。
	ランプ交換時、リセットスイッチを2秒以上押していない。	ランプ、表示板を一度取りはずし、リセットスイッチを2秒以上押す。
ランプモニターが点灯している	カセット式ランプがはずれている。	カセット式ランプを確実に接続して復帰スイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す。
非常点灯しない	非常用電源の接続不良。	正しく接続する。

■リサイクル　照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　照明器具・ランプ商品ご相談窓口　https://sumai.panasonic.jp/support/
0120-187-441（フリーダイヤル）【受付時間】月～土/9:00～18:00（祝日・三が日を除く）※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460(FAX)

N0423-030826